

# 神戸常盤大学 ときわコンピテンシー

本学は、上記のとおり全学共通で育成したい人物像を【ときわ教育目標】に掲げています。それは「知性と感性を備えた優れた専門職職業人」であり、これを学内では「ときわびと」と呼称しています。

そしてこの「知性と感性を備えた優れた専門職職業人」がもっている行動特性（コンピテンシー）を本学では、【知性】【感性】【専門性】【市民性】の4つと考え、これを「ときわコンピテンシー」としています。

## 知性とは

物事を知り、考え、判断する能力のこと。特に本学においては、矛盾した状態に気付いたり、問題を発見したりし、その問題を解決するために様々な知識を関連させ、あるいは多面的・多角的に吟味することで解決の糸口を見つけていこうとする特性。

## 感性とは

五感をフルに稼働させ、自ら感じ取り内面(人間性)を豊かにすること。特に本学においては、様々な経験から得た学びや多様な考え方を関連させて新しい価値を創造していく特性。

## 専門性とは

専門性が強く求められる職業において理想を実現しようとする信念や態度のこと。特に本学においては、保健・医療や保育・教育の専門職としての理想を実現するために、自らを振り返り、よりよい自分を実現するための考え方や技能を得るための努力をし続けることができる特性。

## 市民性:

幅広い教養を身に付け、高い公共性・倫理性を保持しつつ、時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、改善していくことができること。特に本学においては、阪神・淡路大震災の経験を踏まえ、有事の際に専門職としてだけでなく、一市民としてもできることを自ら見つけ出し、主体的に行動する特性。



本学では「ときわコンピテンシー」は 学生が主体的にそれを修得しようとする態度を育成することを重視します。なぜなら「ときわコンピテンシー」は卒業後も「ときわびと」として歩み続けるための指針だからです。

したがって、本学の教職員は、学生が「ときわコンピテンシー」を身に付けていくために、「スチューデント・サポート・ポリシー (SSP)」に則り、学生に積極的に関与していきます。